

令和3年（2021年）2月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1日目）

令和3年2月18日（木）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 （会派名）	発言事項	発言要旨
1	野原 嘉孝 （公明党） 質問方式 総括質問方式 （質問席のみ）	1 防災行政について	(1) 大規模災害で被災した際の空港港湾施設の機能回復への対策について伺う (2) コロナ禍における避難所体制の整備状況を伺う (3) 津波対策について（避難ビルの設置状況等）伺う
		2 新型コロナ対策について	(1) 読売巨人軍が沖縄キャンプにあたり独自でPCR検査センターを設置運営しているが、当局の見解を伺う (2) 庁舎内において陽性者が発生した場合の消毒対応及び抗ウイルス措置について伺う
		3 建造物の安全対策について	(1) 外壁落下等の事故の発生状況について伺う (2) 外壁落下等の事故発生時における現場の安全確保について伺う (3) 事故時の補償対応について伺う
		4 いじめ問題について	先日、教育委員会は、那覇市いじめ問題専門委員会の調査報告を受けて、2015年から2017年にかけてのいじめ問題への対応が不十分だったと、被害者とその保護者に謝罪をした。これとは別件のいじめ問題で2015年から学校と教育委員会に体制の見直しについて、当事者であったN氏から粘り強い提案が出されて相当な検討がなされたが、なぜ、再発防止につながらなかったのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年２月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	上 原 安 夫 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 教育行政について	(1) 少人数学級について ① 昨年 12 月の文部科学・財務両大臣の財政折衝で、小学校全学年の学級編成を法改正で 35 人とする事が決まった。40 年ぶりの少人数学級の動きは、広範な世論と運動の成果。小学校の 35 人で終わりでなく、中学校、高校まで対象を広げ、早急に 30 人学級、そして 20 人学級を求める声が高まっている。今回の法改正について見解を伺う ② 新型コロナに限らず、新型インフルエンザが流行した場合など、感染症に強い学校をつくることは子ども達の健康と学びを保障する上からも大事。少人数学級で密集、密接を避けることは、学校だけでなく地域の感染症に対する恒久的な対策になる。見解を伺う ③ 今回の法改正で学級数、教職員定数等、何がどのように変わるのか伺う ④ 少人数学級制の実施とともに非正規教員の正規化を図ることは、教育の質を高める。学級数が増え、基礎定数も改善されると加配定数の基礎定数化で非正規教職員の正規化が進むことも期待される。見解を伺う ⑤ 那覇市の場合、既に現在の 35 人学級から、今後、30 人、20 人学級へとさらなる少人数学級にどのように進んでいくのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 教職員の長時間労働、多忙化の是正について ① 教職員の長時間労働の実態について、1 か月の残業時間が最も長い教職員は小・中学校でそれぞれ何時間なのか、月 45 時間の残業上限と過労死ラインの 80 時間を超える教職員は、何人、何割なのか、それについての市の見解を伺う ② 教職員の長時間労働、多忙化の是正のために、那覇市教職員働き方改革推進プラン等これまでにを行った主な取組について伺う
		2 新真和志支所複合施設について	施政方針で「新真和志支所複合施設については、真和志地域の活性化の核となる施設整備に向け、事業手法の検討調査などを進めてまいります」と述べられている。新真和志支所複合施設の概要について伺う
		3 公園行政について	2019 年 9 月定例会で取り上げた、小禄小学校森口公園側の通学路となっている小禄 1 号の一部崩れかけている箇所計画的整備について伺う
			【答弁を求める者】 教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年２月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	上 里 直 司 (なは立志会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 施政方針における（故きを温ね、行動を起こす）について	令和３年度施政方針において、「今を生きる私たちは、次の１００年に向けて確実な一歩が踏み出せるよう、新たな礎を築いていかなければなりません。その鍵となるものが、県都として備えた『求心力』を生かすことではないかと考えます」と述べている。その意気込みを施策や事業にどのように落とし込んでいくのかが問われてくるが、以下、伺う (１) 令和２年６月定例会で、公共工事等における地元企業への優先発注や県産品の優先において、「調達業務の際に、これまで以上に地元産品の優先使用に努めるよう働きかけてまいりたい」と答弁しているが、「これまで以上」にどのように働きかけたのか伺う (２) スマートフォンで行政サービスを活用できるようにその対応を急ぐべきである。新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種の際、告知、受付等での活用方法を伺う (３) 経済状況の悪化によって、子どもたちの塾等の学校外教育の機会が削減されかねない。学校外教育の重要性について見解を伺う (４) 本市の求心力を力強く昇華させるためにも、中核市から政令市への移行を提起するが見解を伺う (５) 今年５月２０日に本市は市制施行１００周年を迎えるが、同時に首里市制施行１００周年でもある。故鎌倉芳太郎氏の首里城再建への貢献及び伝統工芸振興の功績を称えて、名誉市民としての追贈する絶好のタイミングではないか。市長の見解を伺う (６) 沖縄県は、公用車のＥＶ化に取り組むが、県同様の財政的スキームで本市も本格導入すべきではないか。見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 公共交通について	県立開邦高校前を通る鳥堀 12 号へのバス路線開設について、その進捗について伺う
		3 首里城再建と周辺まちづくりについて	(1) 次年度、県による首里城復興基本計画が策定されるが、本市の関連する事業、事業費及び取りまとめ窓口設置について伺う (2) 再建に向けた寄附金の使途について、大棟龍頭棟飾りの制作を壺屋陶器事業協同組合に引き受けていただくこと等を含めて県に対して積極的に提案すべきではないか
		4 公園整備事業について	虎瀬公園整備事業で整備箇所に近接する住民から、事業への苦情と改善を提起されたが、その内容と今後の対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年２月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	宮 里 昇 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 水産行政について 2 ヒヤリンググループについて 3 道路行政について 4 公営住宅について 5 高齢者の健康長寿について	(1) 離島漁業再生事業の進捗を問う (2) 那覇空港南側船揚場施設整備事業の進捗状況と課題を問う 公共施設へのヒヤリンググループの導入状況について問う (1) 安謝小学校スクールゾーン委員会より 17 項目の要請事項が提出されている。対応を問う (2) 市道安謝中央線・安謝 2 丁目沿いの歩道の改修について問う (1) 住宅に困窮する低額所得者に低廉な家賃で賃貸する公営住宅はニーズが高い 全国、沖縄県、本市の入居倍率を問う (2) 本市と沖縄県の公営住宅戸数の推移を問う 10 年前、5 年前、最新 フレイル（虚弱）防止について、見解と取組を問う
			【答弁を求める者】 関係部長

一般質問（１日目） 令和３年２月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	我如古 一郎 (日本共産党)	1 福祉行政について	(1) 那覇市の生活保護率の推移、今年度の相談数、申請数、決定数(率)を問う (2) 扶養照会は、年間何件あり、実際に親族が経済援助に転じた事例はどの程度あるか。扶養照会はどのように行われているか (3) 生活困窮者なのに、生活保護申請をためらう理由に、「家族に知られたくない」「親戚に迷惑がかかる」などの声がある。政府も扶養照会は義務ではないと認めている。扶養照会はやめるべきではないか。見解を問う (4) 沖縄医療生活協同組合が実施している、無料低額診療制度は、コロナ禍で生活に困窮している県民の命綱となっている。活用状況を問う (5) 生活保護制度のセーフティーネットから漏れている市民がいる可能性がある。深刻な医療難民がいることに、行政としての見解を問う
		2 識名園について	(1) 識名園を観光客以外にも、市民県民が何度も足を運びたくなる観光地にすることが必要だと思う。園内や駐車場の敷地にサクラなど、四季折々に花を咲かせる樹木を植えることで、魅力度が上がるのではないか。見解を問う (2) 識名園の売店を地元の自治会と企業に委託をし、活性化すべきと提案してきた。その土産品店が、いよいよ実現する。その経過と期待する効果を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 道路行政について	市道真地 7 号の石垣崩壊対策について この石垣は、ますます隙間も広がり、道路側に 角度も押されてきている。早急な対策が必要で はないか。前回の質問で、当局は県と相談する としたが、その後の対応を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年２月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	下 地 敏 男 (ニ ラ イ)	1 保育行政について	病児・病後児の重要性についてはこれまでの議会で取り上げてきた。市長の次年度施政方針にある病児保育事業の小祿地区への新規開設について以下伺う (1) 病児保育事業の現状について (2) 小祿地区への新規開設の予算と今後のスケジュールについて
		2 NAHAマラソンについて	今年度のNAHAマラソンはコロナ禍の中で中止を余儀なくされた一方でオンラインマラソンが実施された。以下伺う (1) オンラインマラソンの結果について (2) 公認を受ける意義がどこにあるのか。市民マラソンに戻したらどうか
		3 水産行政について	(1) 離島漁業再生支援事業の取組状況について (2) 那覇空港南側船揚場整備事業の進捗について
		4 公園行政について	本市の公園に植えられている有毒樹木(キョウチクトウ)の本数及び注意喚起はどのようになっているか
		5 コロナ感染対策について	健康なは 21（第２次）の推進がますます重要性を増してくる。その計画策定推進において市民・関係機関・団体等との協働体制は進んでいるか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年２月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	平 良 識 子 (ニ ラ イ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 陸上自衛隊那覇基地の返還について 3 男女共同参画事業について 4 教育行政について	(1) 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業について、医師、看護師、事務局職員のマンパワー体制はどのようなになっているのか伺う (2) 対面型の事業者等から要望のある感染防止対策のためのアクリル板等設置への補助事業の創設が求められるが、見解を伺う 来年 2022 年は、1972 年に沖縄の施政権が米国から日本へ返還された「沖縄返還」から 50 年となる。那覇市に残された経済発展のポテンシャル高い広大な土地として接收され続けている陸上自衛隊那覇基地の返還を、日本復帰 50 年の節目事業として日本政府に求めることを提案する。市長の見解を伺う (1) コロナ禍における女性と子どもの貧困、DV の問題等、那覇市においてはどのような状況だったか伺う (2) 今年度の那覇市男女共同参画会議の開催状況やニーズはどうだったか伺う (3) 選択的夫婦別姓制度の実現に向けて、那覇市としても積極的に声をあげることが提案するが、市長の見解を伺う 通級指導教室における特に発達障がい指導教室について、通級児童数が多くなり、丁寧な指導体制整備には少なくとも市内 4 地域に設置されるべきであり、次年度への真和志地域への増設を求めてきた。対応について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 L R Tの導入に向けて	L R Tの導入を提案し、現在本市として技術的・経済的・まちづくり等の多角的視点から調査・検討を進めていくところである。市民からどのような声があるか伺う
		6 動物愛護行政について	これまで犬猫殺処分が多い状況を踏まえて、人と動物とが共生する社会を目指す動物愛護条例制定を求めてきた。今回の条例制定において、特に飼い主のいない猫について、市民の苦情も多く、動物愛護団体等ともその対応についてトラブルとなっており難しい課題となっている。条例制定により今後どのように改善に向けて取り組むか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年２月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	大 浜 安 史 (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 施政方針について	(1) 施政方針の中で、「G I G Aスクール構想の実現を踏まえ、児童生徒１人一台の端末における新たなＩＣＴの効果的な活用を促進し、子どもたちの情報活用能力を豊かに育む取組を強化するとともに、教員研修を充実させるための支援員を設置します。」とあるがＩＣＴ支援員の事業内容について伺う (2) 「伝統工芸の担い手育成や観光振興を目的に、首里当蔵町に整備される染物や織物の産地拠点施設の建物を支援します。」とあるが、事業計画について伺う (3) 「デジタル技術が進展する中、次世代を担う小学生を対象にプログラミング講座やコンテスト等を実施し、情報技術への興味や理論的思考の習得など、将来のキャリア形成に役立てます。」とある。プログラミング講座やコンテスト等の取組について伺う (4) 「石嶺、大名、宇栄原の各市営住宅の建替工事を継続する」とあるが市営住宅建替、環境負荷軽減の取組について伺う（再生エネルギーの利活用）
		2 市営住宅行政について	市営住宅入居手続にて、連帯保証人制度について伺う
		3 環境行政について	那覇・南風原クリーンセンターの再生エネルギーの利活用について (1) 売電について従来より新しい企業へ売電した理由について伺う (2) 家庭や地域の清掃活動などで回収された草木の再生エネルギーとしての利活用について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 鳥堀 12 号について	(1) 鳥堀 12 号が開通した際住宅の皆様からは、喜ばれている。朝夕の交通量が多く城東小学校・石嶺中学通学路である。子ども達や高齢者の皆様が安心して横断できるよう、信号機設置をして下さいとの多くの声がある。信号機の設置について伺う (2) 鳥堀 12 号は、開邦高校・中学通学路である。以前からバス会社へも要請しバス路線を通して欲しいと市民から多くの声が寄せられている。路線バスの開通について伺う 【答弁を求める者】 市長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年２月１８日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	宮平のり子 (無所属) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 市長の政治姿勢について 2 佐藤惣之助詩歌碑の首里城付近への移設について	辺野古新基地に陸上自衛隊の離島防衛部隊「水陸機動団」を常駐させる計画が2015年に陸上自衛隊と米海兵隊間に合意されていたことが明らかになり、岸信夫防衛相は陸上自衛隊での検討を認めていると報道があった 陸上自衛隊が駐留するとなれば、辺野古新基地は基地機能強化され、沖縄がまたしても捨て石にされるという県民の怒りが沸騰している 離島においても自衛隊基地の建設は強引に進み、弾薬庫などについても説明責任を果たしていない 施政権返還後、沖縄に配備された自衛隊を市民として容認できない県民感情は沖縄の地上戦にある。日本軍は沖縄県民の食料を奪い、壕から追い出し、県民を守らなかった。沖縄の民間人が犠牲になった。自衛隊は、日本軍と重なっていた 辺野古新基地に陸上自衛隊の離島防衛部隊「水陸機動団」を常駐させる報道について、市長の見解を伺う 佐藤惣之助詩歌碑は戦後の復興を目指していた時代、1959年（昭和34年）に川崎市より送られ、首里城内に設置され首里城の再建に伴い虎瀬公園に移設されていた。川崎市議会全会派60人の市議会議員が署名など、首里城付近への移設の陳情がなされ、委員会の陳情審査を経て議決をされた。移設先の調整など担当部署の尽力ののち、年度内に移設が完了、5月15日には川崎からも移設の除幕式においでになる予定だった 今後のスケジュールについて伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 那覇市の保健所について	コロナ禍の最前線で感染のリスクとたたかいながら、市民のいのちと暮らしを守るためにたたかう那覇市保健所について (1) コロナ禍における那覇市保健所の役割について (2) 那覇市の保健所職員体制について
		4 インクルーシブ公園について	障がいのある子もない子も友達や家族と一緒に遊べる公園が地域で必要である。自閉症、発達障がい、肢体不自由児、知的障がい、ダウン症などさまざまに支援を必要とする子どもと家族が地域で健常者と同じフィールドで当たり前に過ごすことができる社会にならないといけない。インクルーシブ公園について昨年9月定例会で前泊美紀議員が既にとりあげている。先進事例など、参考に調査研究していくと、都市みらい部長から答弁している (1) 新規にインクルーシブ公園を建設する予定はあるか (2) 既存の公園で修理、遊具の取り換えなどは年間を通してあると思われる。インクルーシブの視点を入れることにより、公園遊具の定番、滑り台やブランコも車いす利用の子どもにも配慮できると考える。部分的にでも既存の地域の公園にいす型ブランコ、皿形ブランコなどを導入していくことができれば、公園を訪れる家族同士が障がいを認め合い、ふれあう場になる。この提案に対して見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 男女平等行政について	東京五輪、パラリンピック組織委員会の森喜朗会長の女性蔑視発言に国内外から批判・非難が寄せられている 世界経済フォーラムが発表した日本のジェンダーギャップ指数が153か国中121位ということで、2006年の指数算出開始以来、過去最低の順位となっている。旧態依然とした男性が多数を占める仕組みは那覇市についても言える。女子差別撤廃条約（1985年締結）、男女共同参画社会基本法（1999年）、関連の女性活躍推進法など到達度が義務化されていない。以下伺う (1) 第4次那覇市男女共同参画計画における女性の管理職（部課長）の到達目標について (2) ポジティブアクションの認識について (3) 4月の人事異動で男女比を考慮した昇任昇格を考えているか 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長